

## 鹿兒島大学歯学部創立40周年に寄せて

鹿兒島大学名誉教授 島田和幸

今年、鹿兒島大学歯学部が創立40周年を迎えることができたこと大変おめでとうございます。私が在職中に創立30周年記念事業が考えられていましたが、当時の諸事情により開催がやむなく中止されてからはや10年が経過し、時間のすぎるのが早いことを実感しております。

さて私が部局長を拝命中に歯学部として対外的にも大きな事業の一つとされたのが全日本歯科学学生総合体育大会（通称デンタル）の事務主管校となることでした。そのことについて少し当時の思い出を書きたいと思います。主管校の受諾のお話は以前よりあったようですがなかなか決定出来ないのが当時の現状でした。その様な状況の中でようやく第44回全日本歯科学学生総合体育大会を鹿兒島大学で受けることとなりました。サブタイトルは「いざ体感！熱き薩摩の心意気」と決まり、後援として文部科学省、鹿兒島県教育委員会にお願いし、大会会長を私に、大会副会長を中村典史教授、連盟副会長に小松澤均教授、学生代表として大会実行委員長の池田幹人君、評議委員長の井上結莉君、副評議委員の藤本けい子君、大会実行委員の飯田このみ君、大村崇維君、森久保友紀君、池水智美君らが中心になり教員、及び事務方が一致団結して大会の運営に協力していただきました。夏期開催日は2012年8月1日より13日間でした。しかし鹿兒島大学歯学部は全学部の中でも最も小規模な部局ですので当然運動系クラブも数多くありませんから鹿兒島で直接開催できるのは七部門だった様で他の多くの部門の開催は他校の部門主管にお願いする次第でした。開催日の初日の8月1日は市内のホテルにて全国各大学の代表の出席による開会式が執り行われました。実際に鹿兒島の地での競技はサッカー、ゴルフ、バスケットボール、弓道部の各クラブだったように記憶しています。参加された学生達が鹿兒島の夏は大変暑く、熱中症、脱水症や外傷事故等がないようにと大変気を使ったことが想いされます。

私も当時バスケットボール部（男女）の顧問をしておりましたので始良市で開催されていた会場に向き

ました。バスケットボール部では多くの先輩OB、OGが会場に向いてこられ北海道からも会場に応援に駆けつけたOGの先生もおられました。会場は大変蒸し暑く選手達については十分な会場環境では無かったとも思いましたが、各大学の榮譽をかけての熱戦に大変感動いたしました。鹿兒島での競技も大きな事故や問題も無く、無事に8月13日の閉会日をサンロイヤルホテルで迎えることができ次期主管校である日本大学歯学部長に大会旗引き継ぎを行い無事終了いたしました。鹿兒島大学歯学部の総合結果につきましては上位入賞にはおよびませんでした。全参加校中の19位でまずまずの結果でした。大会に参加し、全国の歯学生と同じクラブを通しての交流をもつことができたことは鹿大歯学部の学生達にとっても大変有益になったことだと思っております。また鹿兒島大学歯学部についても創立以来の全国的な大会の主管を引き受けることで歯学部の存在を学内外に広めたのではないかと考えております。なお私事ですが鹿兒島大学歯学部長として次期大学長である日本大学歯学部長である同級生の越川教授へと引き継げたのも私の大きな思い出の一つとなりました。

以上、私が在職中に経験した大きなイベントについて書いてみました。鹿兒島大学歯学部もようやく人でいえば40歳になり、人生としてはこれからが一番働き盛りの年齢です。しかし、これからの歯科医療の状況はこれまでにない大きな変革の波が押し寄せてきております。大学として社会の変革に遅れることなく学部教育理念に基づいた良き歯科医師の育成に部局が丸となって進んでいってください。以前在職した一員として貴学部のご発展を見守らせていただきます。